

どうなっていくの？ 私たちのこれからの子育て ～子ども・子育て支援新制度を学ぶ～

『これからの子育て』に関心集まる!!

去る8月20日(火) 19:00から『第1回ココ研勉強会』を開催しました。当初の予定では20団体を予想していたのですが、想像をはるかに超える団体や個人の方の参加がありました。

参加された方は、「子ども・子育て支援新制度」に対する関心、国や浜松市の今後の子育て支援の方向性、新制度により現場がどのように変化するのかということなど、それぞれの立場に関心を持ち、この勉強会に期待して集まっていただきました。



▲たくさんの参加がありました。

●「ココ研」とは…

子育て支援に関わる人、子育てに関心がある人が参加できる、浜松市の子育て支援の制度や現状を知るための勉強会です。「子ども・子育て支援新制度について考え行動につなぐ研究会」ということからこの名前がつけられました。



●子ども子育て支援新制度研究会●

🔄 第1回 勉強会 おさらい 🔄

■ココ研の趣旨説明

「子ども・子育て支援新制度」については、とかく「認定こども園」や「待機児童解消」についてメディアでも大きく取り上げられています。しかし、これはそれだけの問題ではないのです。また、国が敷いたレールの上で、浜松市にそのまま制度をつくるのではなく、浜松市の問題やニーズに合ったものとして制度を考えていかなければなりません。

国は法律に基づき「子ども・子育て会議」を設置し、すでに5回開催されています。浜松市でも、地方版子ども・子育て会議ということで、「社会福祉審議会児童福祉専門分科会(以下、「分科会」とする)」という名称の会議が始まりました。公募委員4名を含む15名の委員により、すでに2回の会議が行われ、年度末までに3回行われる予定になっています。

ココ研は、勉強会で学び意見交換したことを「分科会」に提言しようというものではありません。

まずは、新しい制度によって浜松市の子育て支援の状況が変化することに合わせて、それぞれの立場で何ができるかを考え、行動していけるように、情報共有と意見交換をしていきたいと思っています。



■質疑

会の中で出た質問だけでなく、参加者アンケートの中にもいくつかの質問がありました。そこで、次のページ(P.3)に質問と回答を掲載していますので、そちらをご覧ください。

平成25年8月20日(火)

浜松市子育て情報センター研修室にて行われました。

■『子ども・子育て支援新制度』と 浜松市の動向の説明

資料に基づき、浜松市次世代育成課の北村氏より、「子ども・子育て支援新制度」と、国や浜松市の動向について説明がありました。参加者の気になるところは、下記のようなことでした。

- 新制度について
- 国や浜松市の現状と今後について
- 幼稚園・保育園の今後や、認定こども園について
- 今後の子育て支援がどうなっていくのか
- 新しい制度と自分たちの活動をどのように絡め、今後の見通しはどうか
- 参加者同士の意見交換や情報交換

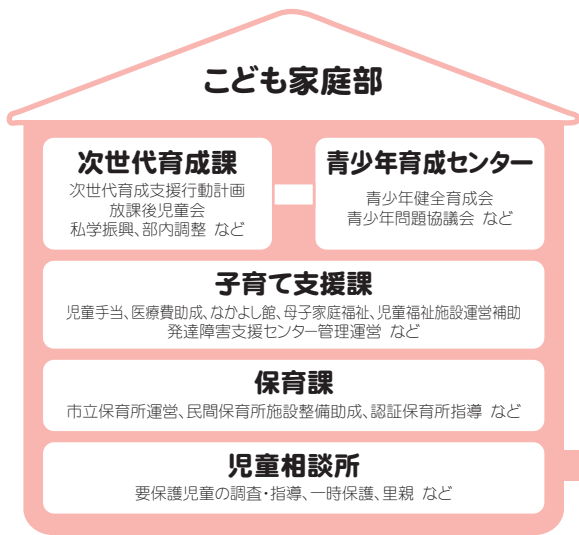
参加者の置かれている立場によっていろいろな疑問点や課題意識を持って、この勉強会に参加されていることがよくわかりました。

浜松市の職員でも、まだまだ全容がわからない部分もある状況のようです。参加されている方の中には、団体としてすでに勉強会を行い、制度について知っている方もいたようです。これまで漠然としたイメージでとらえていた新制度について、具体的に理解できたという感想を、多くの参加者からいただきました。

■交流

幼稚園・保育園の職員や、子育て関連の支援団体の方、企業の方など、いろいろな立場の方がこれだけ集まることは珍しいということで、最後の時間を交流の場としました。かなり有意義な時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか?これまでつながりがなかったところともつながり、今後の浜松市の子育て支援のために、この交流の場を活かしていきましょう。

浜松市の子ども施策 担当部署



子ども・子育て支援については、子ども家庭部だけではなく他部署も含めて全体で問題解決してほしいものです。

こども家庭部の今年度予算は

364億円

用途は主に
児童手当 147億円
医療費助成 26億円 など

事項	平成25年										平成26年
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
児童福祉専門部会		第1回	第2回			第3回		第4回		第5回	
子ども・子育て支援事業計画			素案作成				ニーズ調査を踏まえた見直し				
ニーズ調査				実施	集計・分析						
子ども・子育て支援給付	●現状分析										
子ども・子育て支援事業	●計画期間中の供給量推計										
	●ニーズ調査票案の検討										

9月はいよいよニーズ調査が始まります。アンケートは記入に30分程度かかるという膨大なものとなりそうですが、当事者の声を新制度に反映させるため是非とも回答を提出してほしいものです。

浜松市の待機児童の状況

◆認可保育園の整備状況(新設・定員増)

平成19年度から平成25年度まで、新規に認可保育園(認定こども園を含む)が7園開設されました。また、既存園の増改築等により浜松市内の認可保育所の定員が合計1,045人分の定員増となっています。

年度	19	20	21	22	23	24	25
定員増の人数(人)	210	30	30	40	445	150	140

平成25年4月1日現在の
浜松市の待機児童数

269人

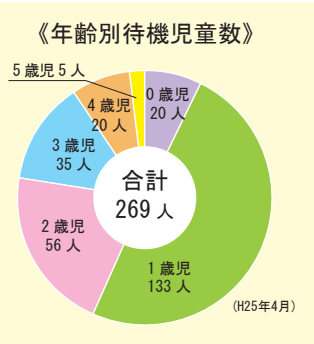
◆待機児童とは

$$\text{待機児童数} = \text{保留児童数} - \text{浜松市認証保育所入所者数} - \text{特定園等希望者数} - \text{主に自宅で求職活動をしている児童数}$$

※入園の選考は、すべての保留児童を対象に実施されています。
※保留児童とは、就労などの理由で、小学校就学前の子どもを認可保育所に預けたいと希望し、入園を申し込んだが、定員超過等により入所できなかった児童の数のこと。

◆参考サイト(びっぴ)

- ★「もっと知りたい“認定こども園”」 [携帯でも見ることができます。→ QR①](#)
ホーム > 知りたい > びっぴの取材ママが見てきたよ! > 浜松の子育て支援レポート > もっと知りたい認定こども園
- ★浜松の待機児童の状況と今後の保育園の整備について [QR②](#)
ホーム > 保育・教育 > 保育園と幼稚園 > 保育園とは > 浜松の待機児童の状況と今後の保育園の整備について



▼QR①



▼QR②



ココ研 第1回勉強会 Q&A

参加者から出た質問に対し、
次世代育成課から回答が届きました。



◆新制度の仕組みと流れ

- Q** 財政の一本化のところが気になります。その仕組みはどうなっているのでしょうか？
- A** 幼稚園に限らず、保育園や認可外保育施設も含め、新制度の仕組み上、どのような選択肢があるのか(財源も含めて)情報提供に努めます。
- Q** 市民ニーズ調査^{*}は、今回、支援者団体に行われるのでしょうか？
- A** ニーズ調査は未就学児を対象とし、その保護者に回答していただくことを想定しており、支援者団体に対しては行わない予定です。
- ※補足:この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

◆新制度の内容について

- Q** 現行制度と新制度の変更点の具体的な違いがよくわからない点があった。特に質問にもありましたが、保育の必要性の認定の欄で、新制度の保育の必要性の認定について、教えてください。
- A** 新制度は、「保育に欠ける判定」という考え方から「保育の必要性を認定」というしくみに代わります。認定を受ける子どもの年齢と保育の必要性によって1号、2号、3号に分かれます。
- Q** 181事業の子ども・子育て関連の中に、3~5歳の未就園児童に対する事業は含まれているのでしょうか？
- A** 例えば、地域子育て支援拠点事業など、3~5歳の未就園児童も対象とする事業があります。



『子ども・子育て支援新制度』を学ぶための参考サイト

- ★内閣府「子ども・子育て支援新制度」について
<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/>
- ★浜松市部長宣言2013
<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/admin/sengen/07kodomo.htm>
- ★にっぽん子育て応援団
<http://nippon-kosodate.jp/>
- ★厚生労働省 保育関係
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/hoiku/index.html
- ★厚生労働省 職場における子育て支援
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/shokuba_kosodate/
- ★厚生労働省 全国児童福祉主管課長会議資料(平成25年3月15日)
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002xbvy.html>

情報を待っているだけでは
乗り遅れてしまいます。
自分で情報を探して、知識を身につけ、
みんなで共有しましょう。



◆幼保一元化について

- Q** 現実として、幼稚園と保育園が今後どのように変わっていくのか、教えてください。
- A** 国からの情報をもとに、どのような選択肢があるのか、情報提供に努めます。
- Q** 認定こども園のメリットについて、教えてください。
- A** 質の高い「教育」と「保育」を一体的に提供できることにあると考えます。また、保護者が働いている、いないに関わらず利用できますし、保護者の就労状況が変化しても継続して利用できます。
- Q** 新制度において、保育の必要性の認定を受けた後の、保育サービスの利用申込はどこで受け付けるのか?各保育所なのか、区役所なのかについて教えてください。
- A** 現在の保育所が、新制度においても「保育所」として存続する場合は、現在と同様に区役所で受け付けます。(ただし、現在の保育所が、新制度において「保育所型認定こども園」に移行する場合は、各保育所で受け付けることになります。) ※()内のただし書き以下の内容は、レアケースです。
- Q** 不足している項目を5年以内を受講すれば、保育教諭資格を取得できるとのことですが、どのような形で資格勉強が求められるのでしょうか？
- A** 現在、国において、認定こども園法改正に伴う幼稚園教諭免許状及び保育士資格の取得の特例について議論されていますので、その結果が今後、情報提供されると思います。

◆浜松市の今後について

- Q** 浜松市の今後の計画について教えてください。
- A** ニーズ調査の結果を踏まえ、(仮称)子ども・子育て支援事業計画を策定する過程で明らかにしてまいります。パブリックコメントも予定しています。
- Q** 現時点で、さまざまな団体の方が、子育て事業についてどのような課題を感じていて、どのようなビジョンを持っているのかを知りたい。
- A** 「ココ研」が、まさにそのような場のひとつになると考えます。行政としても、できる限りの協力をするつもりです。

～子ども・子育て支援新制度を学ぶ～

第2回

勉強会 参加受付開始

日時 平成25年12月5日(木)
19:00～21:00

場所 福祉交流センター 大会議室
浜松市中区成子町140-8

対象 子育て支援を行っている団体・企業・行政の人
子育てに関心のある人

参加費
無料

申込み・ 問合せ

NPOはままつ子育てネットワークぴっぴ まで
窓口に直接 または 電話 でお申込みください。

※定員になり次第締め切らせていただきます。

電話 **053-457-3418** (月～土曜日 9:00～17:00受付)

たくさんの
ご参加お申込み
お待ちしております！



《アクセス》

徒歩の場合

JR浜松駅北口を左手に曲がり、
高架線路沿いに西南方向(豊橋方向)へ約10分

バスの場合

駅北口バスターミナル4番乗り場
10番：舞阪町内・弁天島温泉ゆき
12番：高塚・馬郡ゆき
16番：法枝・小沢渡ゆき
「成子坂」下車 徒歩3分

循環まちバスく・る・るの場合

まちなか南ルート
駅北口バスターミナル7番乗り場
運行時間 9:30～17:28
(浜松駅バスターミナル毎時00・30分発)
13番下車(浜松駅から約15分)

NPO法人 はままつ子育てネットワーク ぴっぴ
〒430-0929 静岡県浜松市中区中央三丁目4番8号
電話：053-457-3418 FAX：053-457-2901
E-MAIL：pippi@hamamatsu-pippi.net

ぴっぴとつながろう！

Facebook

いいね！してね♪

Twitter

「#ぴっぴ」でつぶやくと
ようこそサイトに載ります。

ぴっぴ facebook 検索

ぴっぴ twitter 検索



◆ホームページ

ぴっぴ 検索

- 子育て情報サイト
<http://www.hamamatsu-pippi.net/>
- ぴっぴ法人サイト
<http://npo.hamamatsu-pippi.net/>
- ココ研サイト
<http://kokoken.hamamatsu-pippi.net>